

刈谷市下水道事業の概要及び 現状と課題について

令和6年5月

1.刈谷市下水道事業の概要

2.下水道事業の経営状況

3.収支の将来予測

1.刈谷市下水道事業の概要

2.下水道事業の経営状況

3.収支の将来予測

1.刈谷市下水道事業の概要

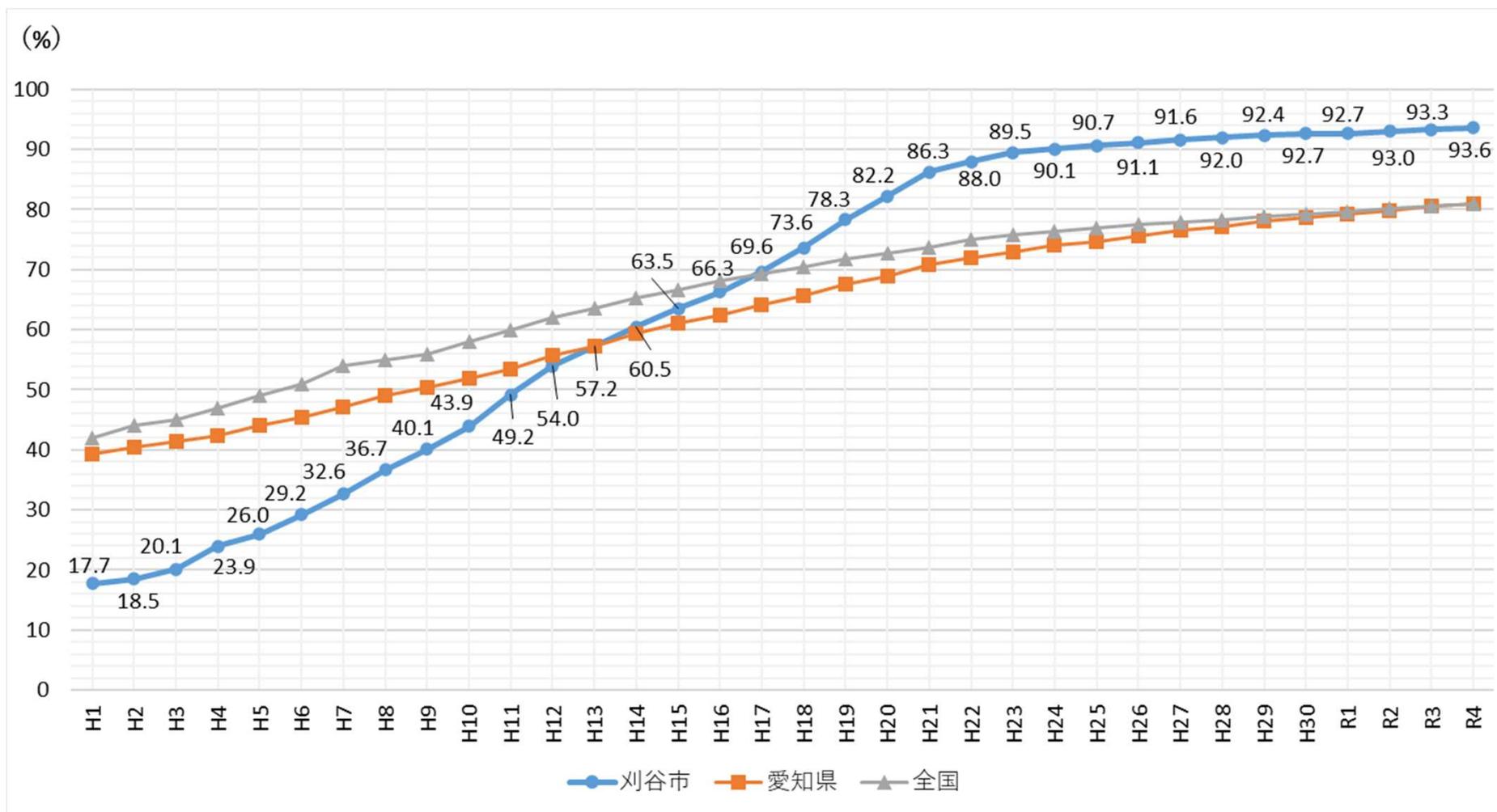
昭和27年に単独公共下水道事業として事業着手し、昭和49年に愛知県が事業主体である境川流域下水道に接続する流域関連公共下水道となる。

令和4年度末 整備状況

行政区域面積（刈谷市全域）	5,039ha
行政区域内人口（A）	152,428人
基本計画区域面積（下水道の整備を計画している区域）	3,209.1ha
事業計画区域面積（5～7年以内に整備が終了する予定の区域）	2,504.1ha
供用開始区域面積（下水道が整備された区域）	2,259.0ha
供用開始区域内人口（B）	142,646人
下水道普及率（B）÷（A）	93.6%
（全国）下水道普及率	81.0%
（愛知県）下水道普及率	81.0%
（西三河）下水道普及率	80.5%

1.刈谷市下水道事業の概要

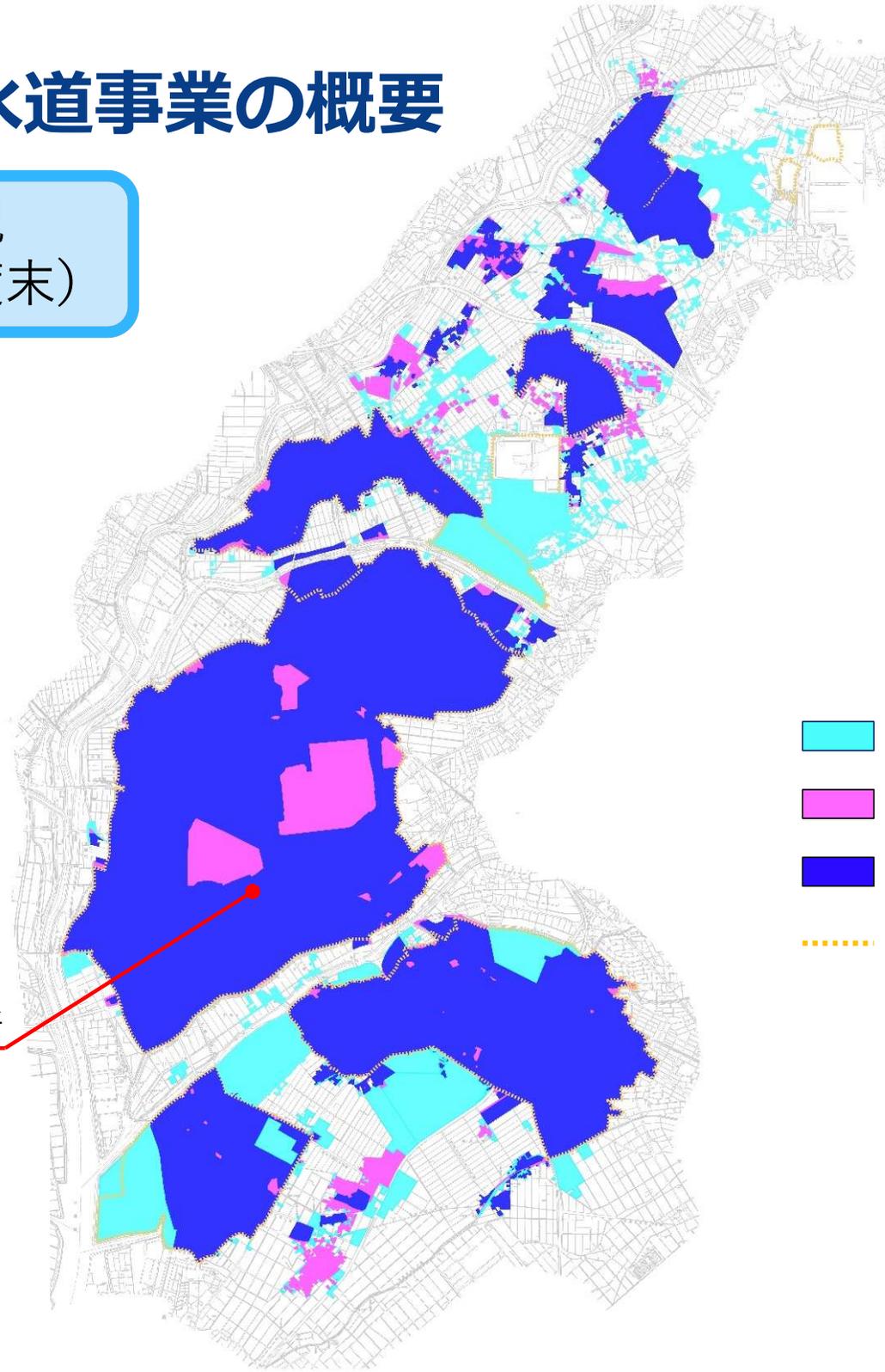
下水道普及率



1.刈谷市下水道事業の概要

整備状況
(令和5年度末)

刈谷市役所



- 基本計画区域
- 事業計画区域
- 供用開始区域
- 市街化区域

1.刈谷市下水道事業の概要

施設の状況

令和4年度末時点			
終末処理場	境川浄化センター（愛知県所有）		
管渠延長	843km	下水管（合流式）	102km
		下水管（分流式）	601km
		雨水管	140km
雨水ポンプ場施設	3箇所（亀城・市原・小垣江）		

1.刈谷市下水道事業の概要

下水道使用料の概要

1 か月 20 m³ 当たり 1, 650 円 (税込)

種 別	区 分	汚 水 量	使 用 料 (税込)
一般汚水	基本使用料		770円
	従量使用料 < 1 m ³ につき >	10 m ³ まで	11円
		10 m ³ 超～20 m ³	77円
		20 m ³ 超～40 m ³	110円
		40 m ³ 超～100 m ³	126円50銭
		100 m ³ 超～500 m ³	148円50銭
		500 m ³ 超	198円
公衆浴場汚水	上記区分に同じ	一般汚水に同じ	一般汚水として算定した額の2分の1
臨時汚水		1 m ³ につき	220円

1.刈谷市下水道事業の概要

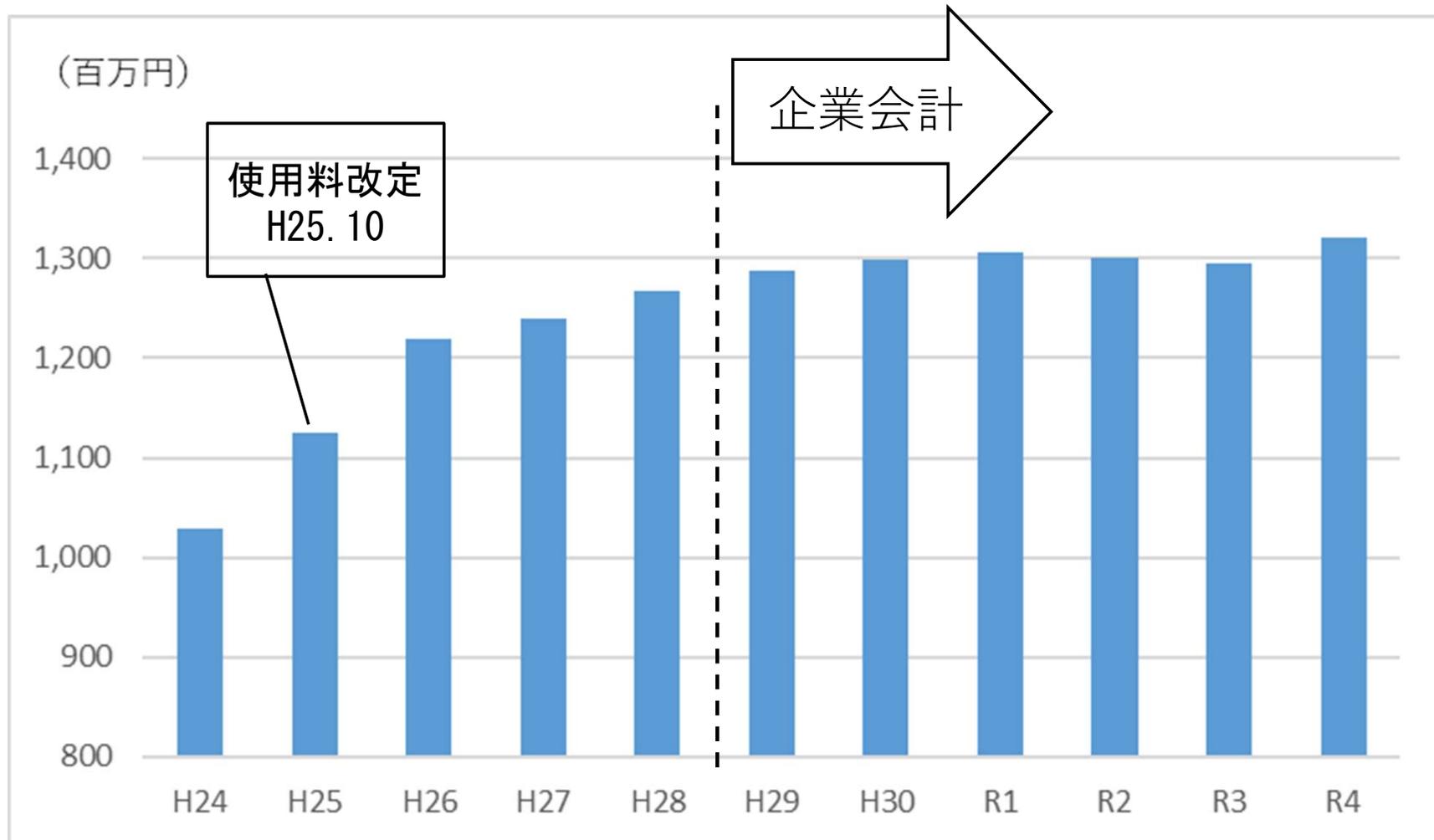
2.下水道事業の経営状況

3.収支の将来予測

2. 下水道事業の経営状況

下水道使用料収入

各年度ごとの年間下水道使用料収入（税抜）



2.下水道事業の経営状況

下水道使用料の概要

1か月20m³当たり1,650円(税込)

種 別	区 分	汚 水 量	使 用 料 (税込)
一般汚水	基本使用料		770円
	従量使用料 <1m ³ につき>	10m ³ まで	11円
		10m ³ 超～20m ³	77円
		20m ³ 超～40m ³	110円
		40m ³ 超～100m ³	126円50銭
		100m ³ 超～500m ³	148円50銭
		500m ³ 超	198円
公衆浴場汚水	上記区分に同じ	一般汚水に同じ	一般汚水として算定した額の2分の1
臨時汚水		1m ³ につき	220円

2. 下水道事業の経営状況

1 か月 20 m³ 当たり家庭料金 (円) (税込・令和5年度)

県内

1	小牧市	1,581
2	刈谷市	1,650
2	安城市	1,650
2	岩倉市	1,650
5	常滑市	1,705
6	田原市	1,760
6	瀬戸市	1,760
6	碧南市	1,760
6	高浜市	1,760
10	犬山市	1,771

西三河

1	刈谷市	1,650
1	安城市	1,650
3	碧南市	1,760
3	高浜市	1,760
5	幸田町	1,870
6	豊田市	1,980
6	みよし市	1,980
8	岡崎市	2,035
9	西尾市	2,090
10	知立市	2,365

2. 下水道事業の経営状況

公営企業会計

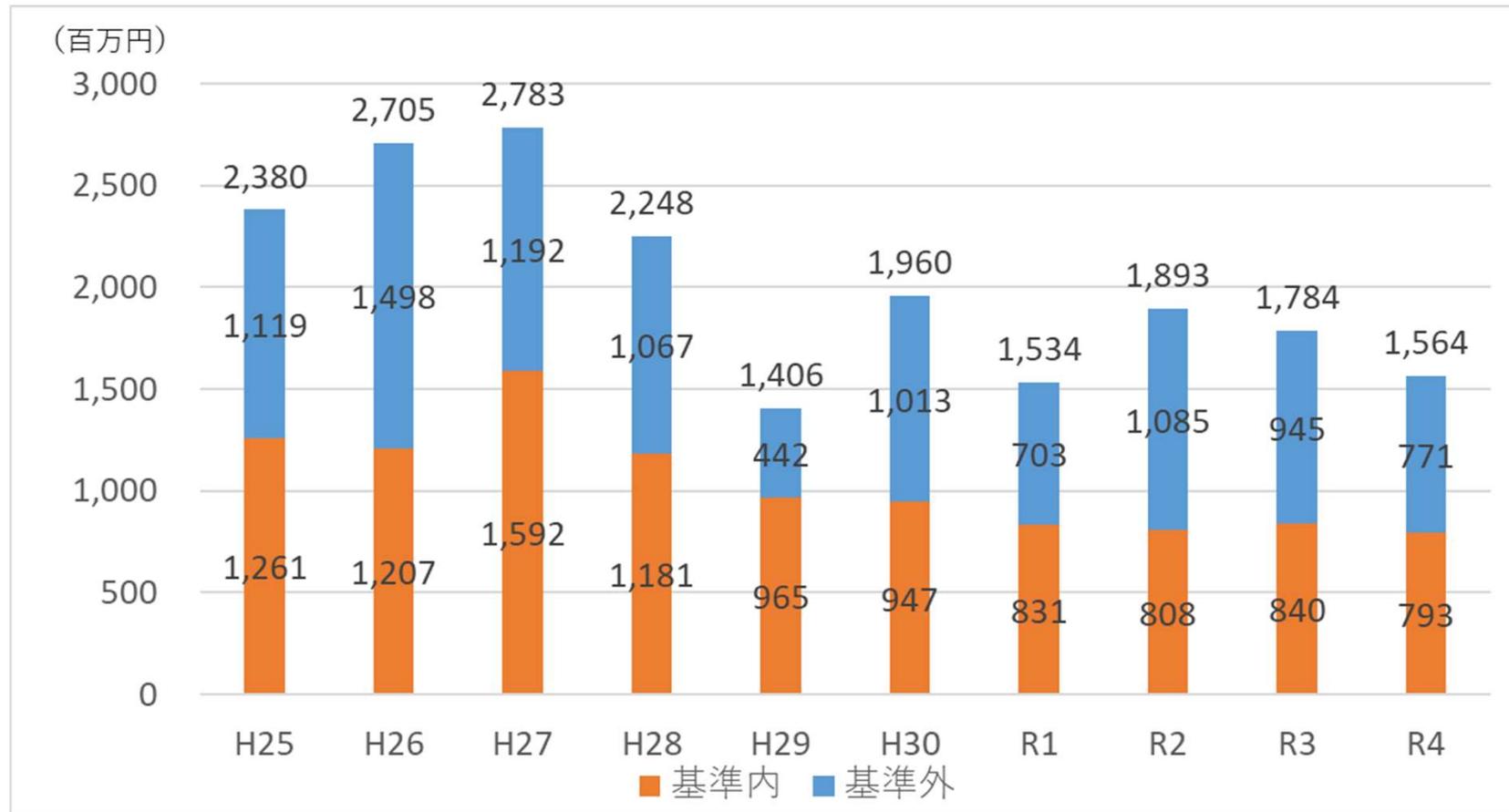
公営企業 地方公共団体が住民の福祉の増進を目的として設置し、経営する企業（上水道、下水道、病院、交通など）。

一般行政事務の経費が税金によって賄われるのに対し、公営企業は提供するサービスの対価である料金収入によって維持される。

= 独立採算の原則

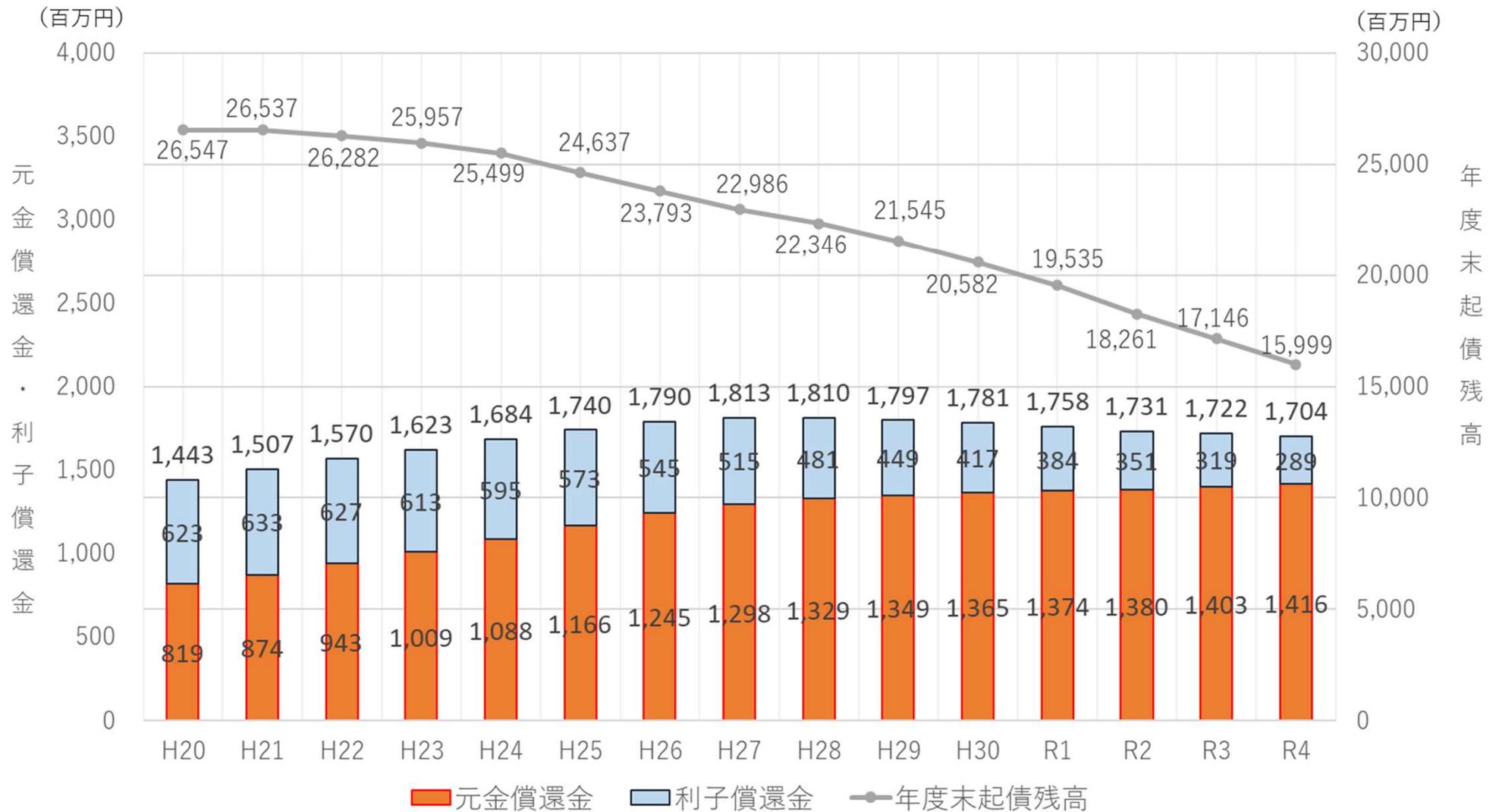
2. 下水道事業の経営状況

一般会計繰入



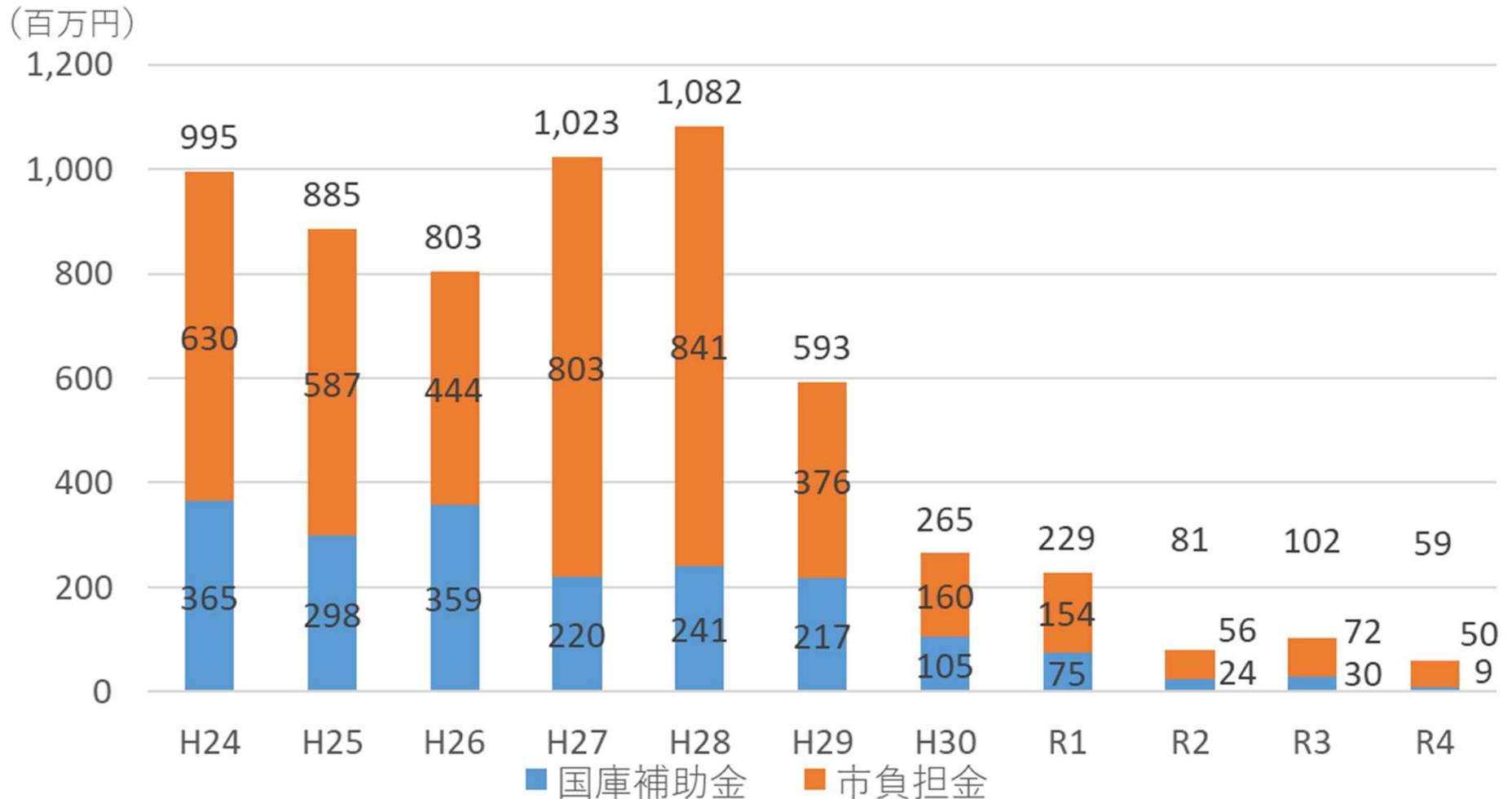
2. 下水道事業の経営状況

起債残高



2. 下水道事業の経営状況

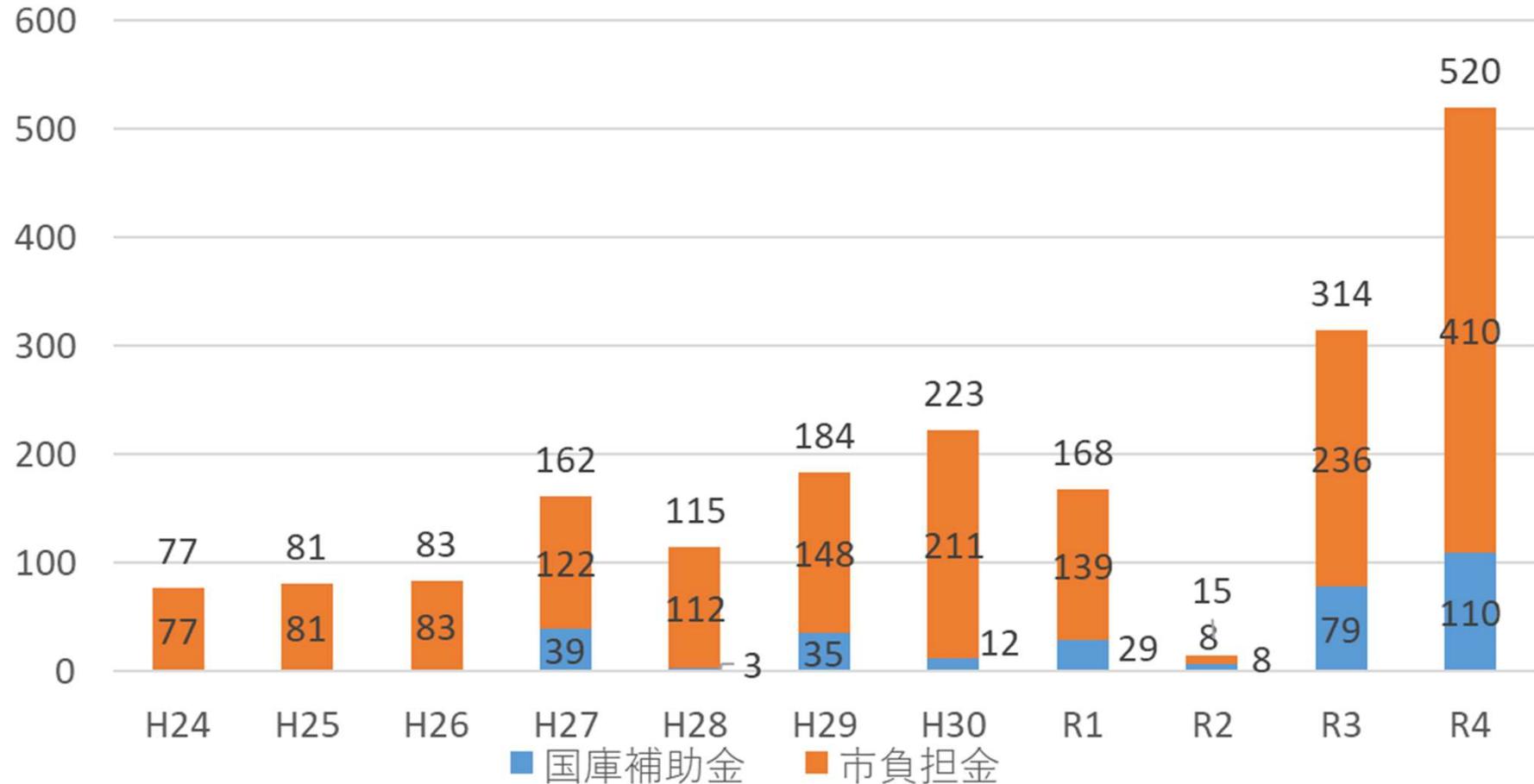
新規整備事業費



2. 下水道事業の経営状況

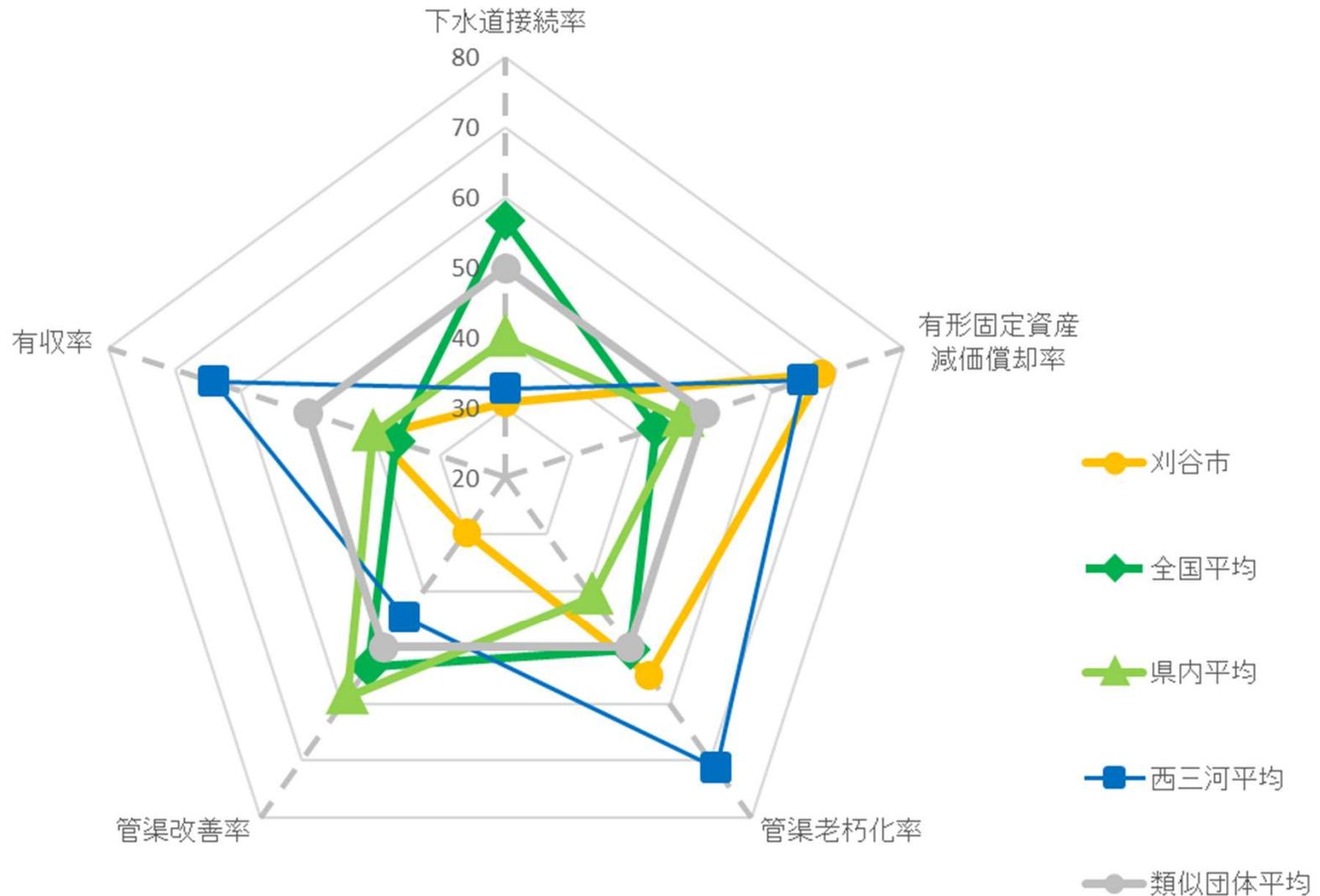
改築更新事業費

(百万円)



2. 下水道事業の経営状況

投資に関する経営指標（令和4年度末）

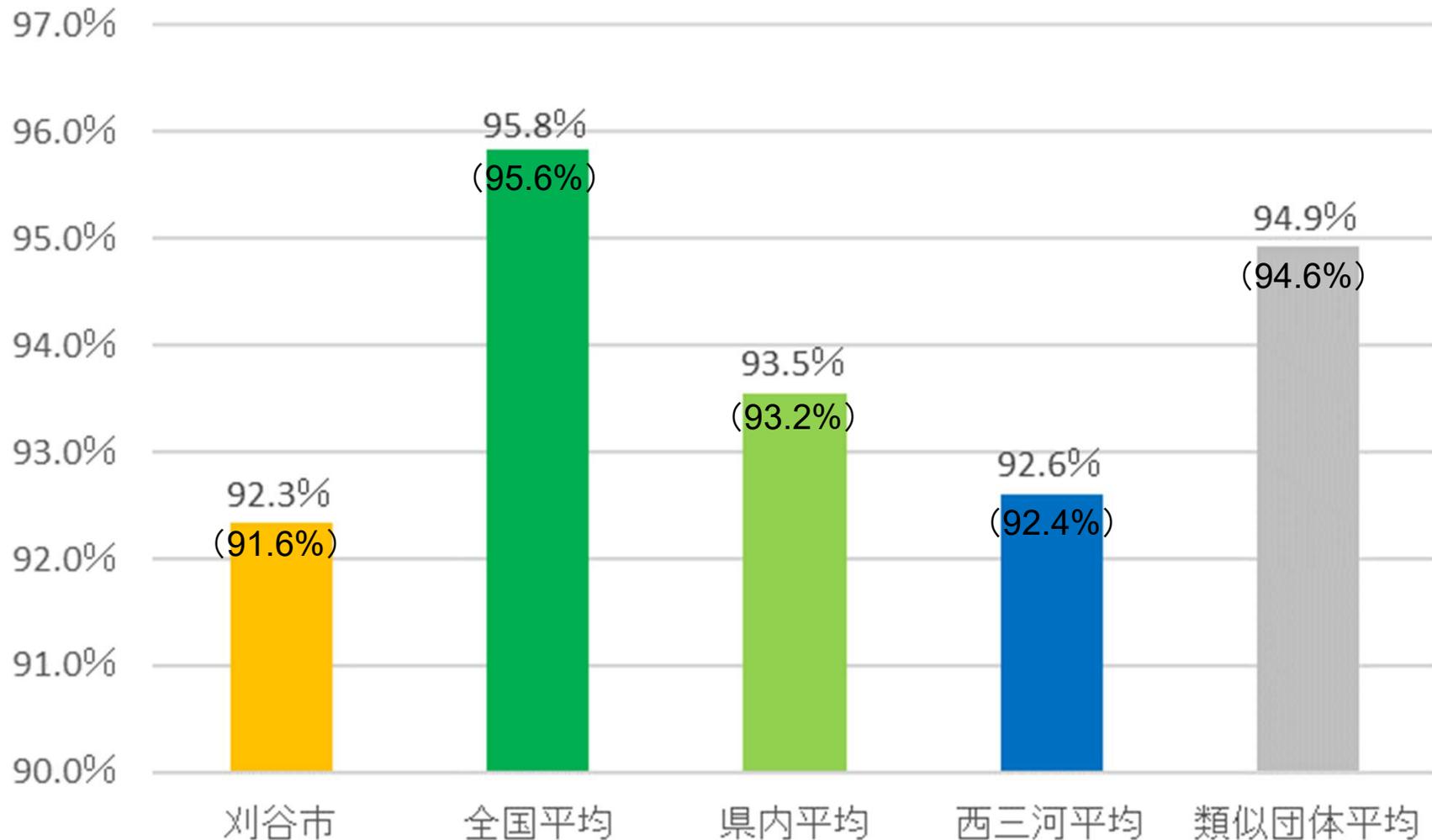


2. 下水道事業の経営状況

下水道接続率

※令和4年度数値、括弧内は経営戦略策定時の令和2年度数値、以降同じ

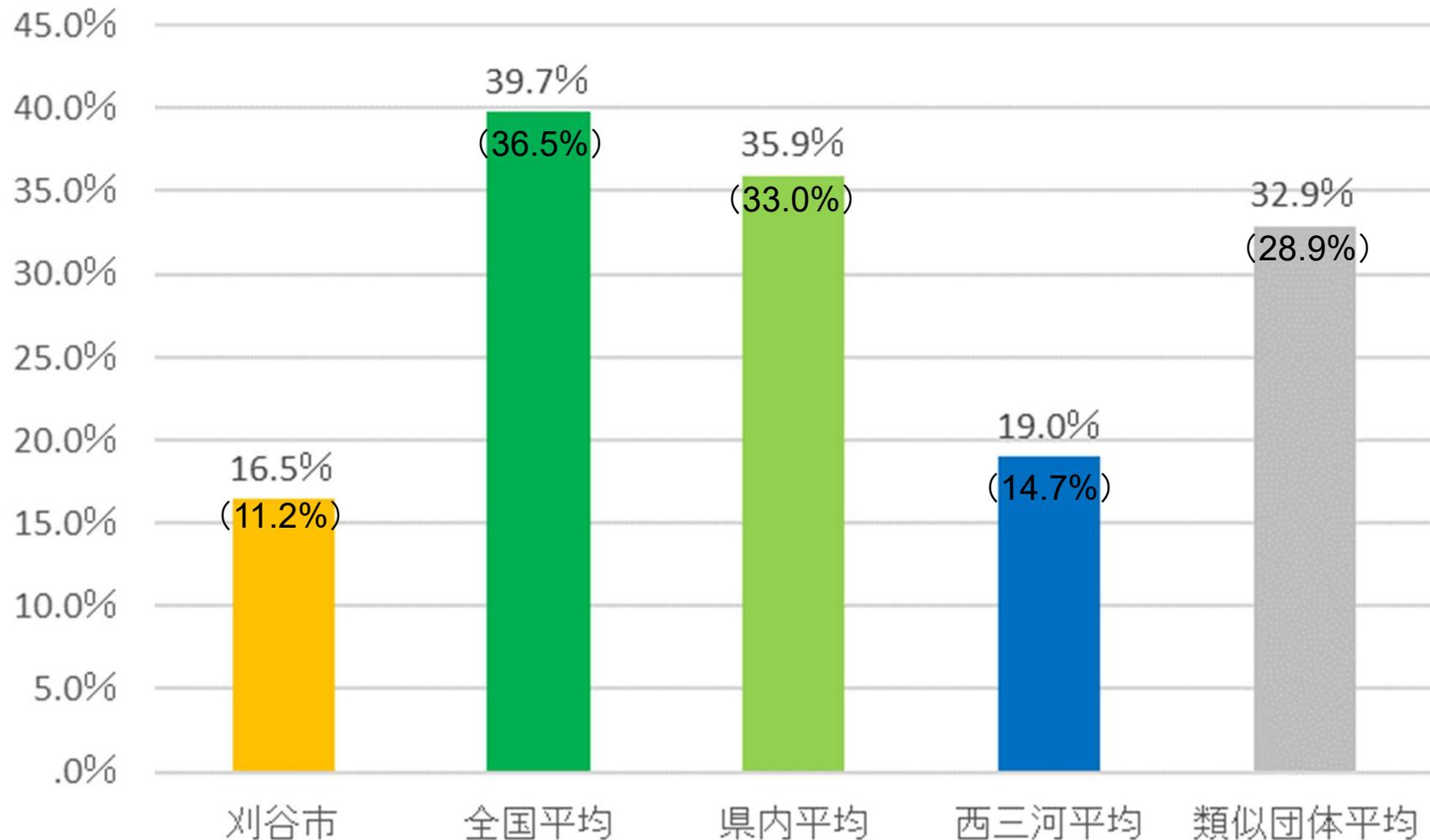
供用開始区域内人口のうち、下水道に接続している人の割合。



2. 下水道事業の経営状況

有形固定資産減価償却率

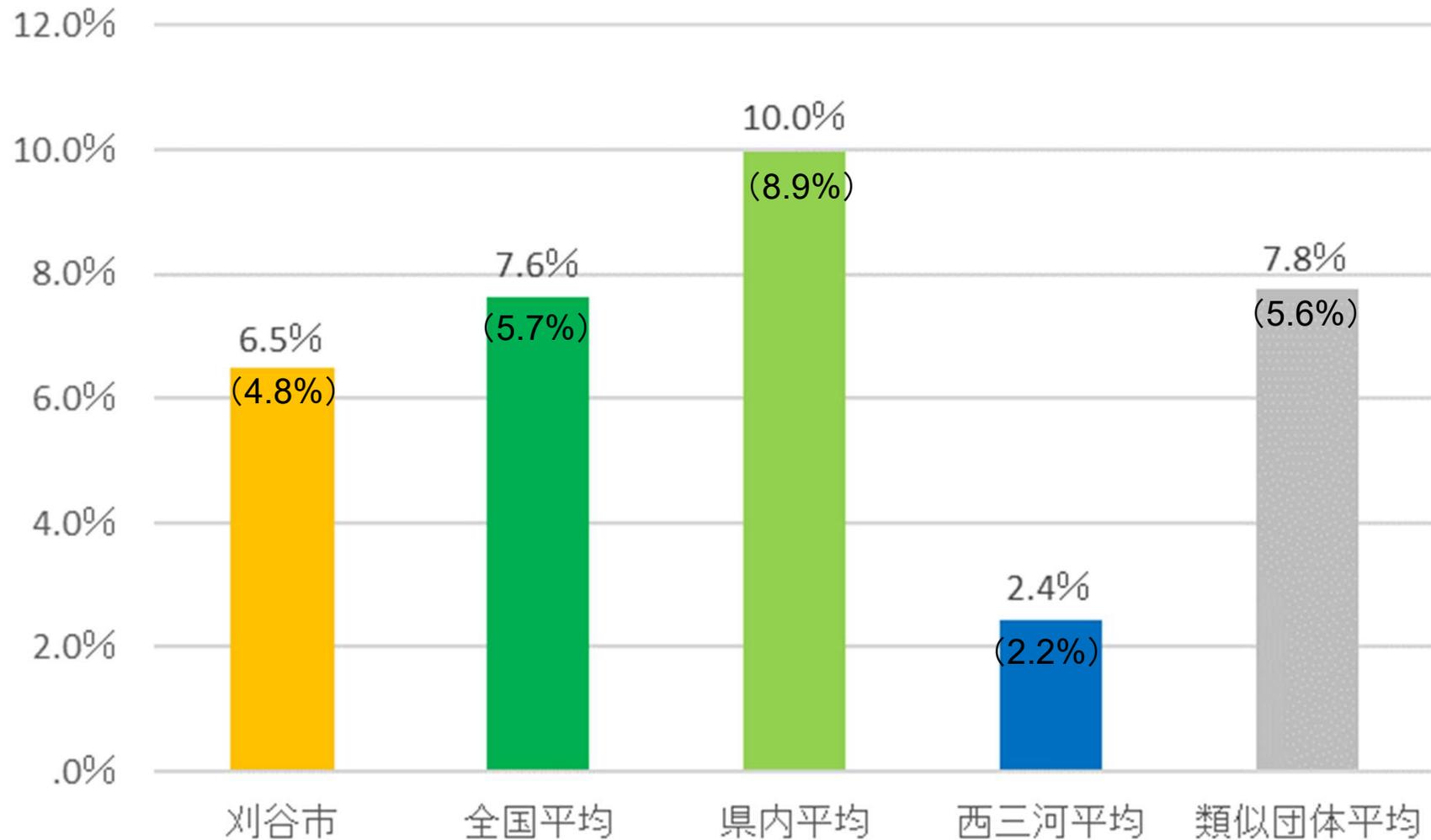
有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどれだけ進んでいるか。



2. 下水道事業の経営状況

管渠老朽化率

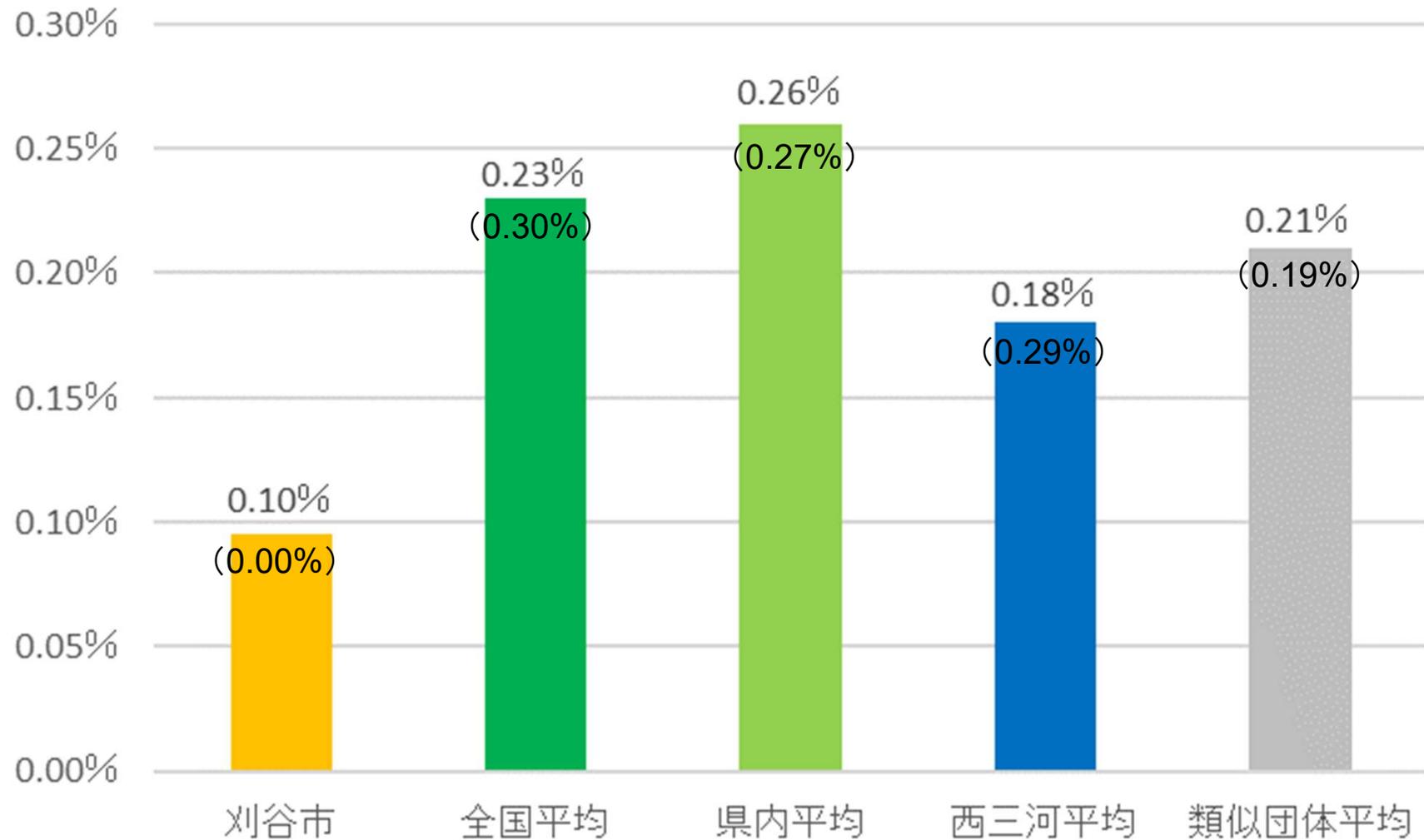
法定耐用年数を超えた管路延長の割合。



2. 下水道事業の経営状況

管渠改善率

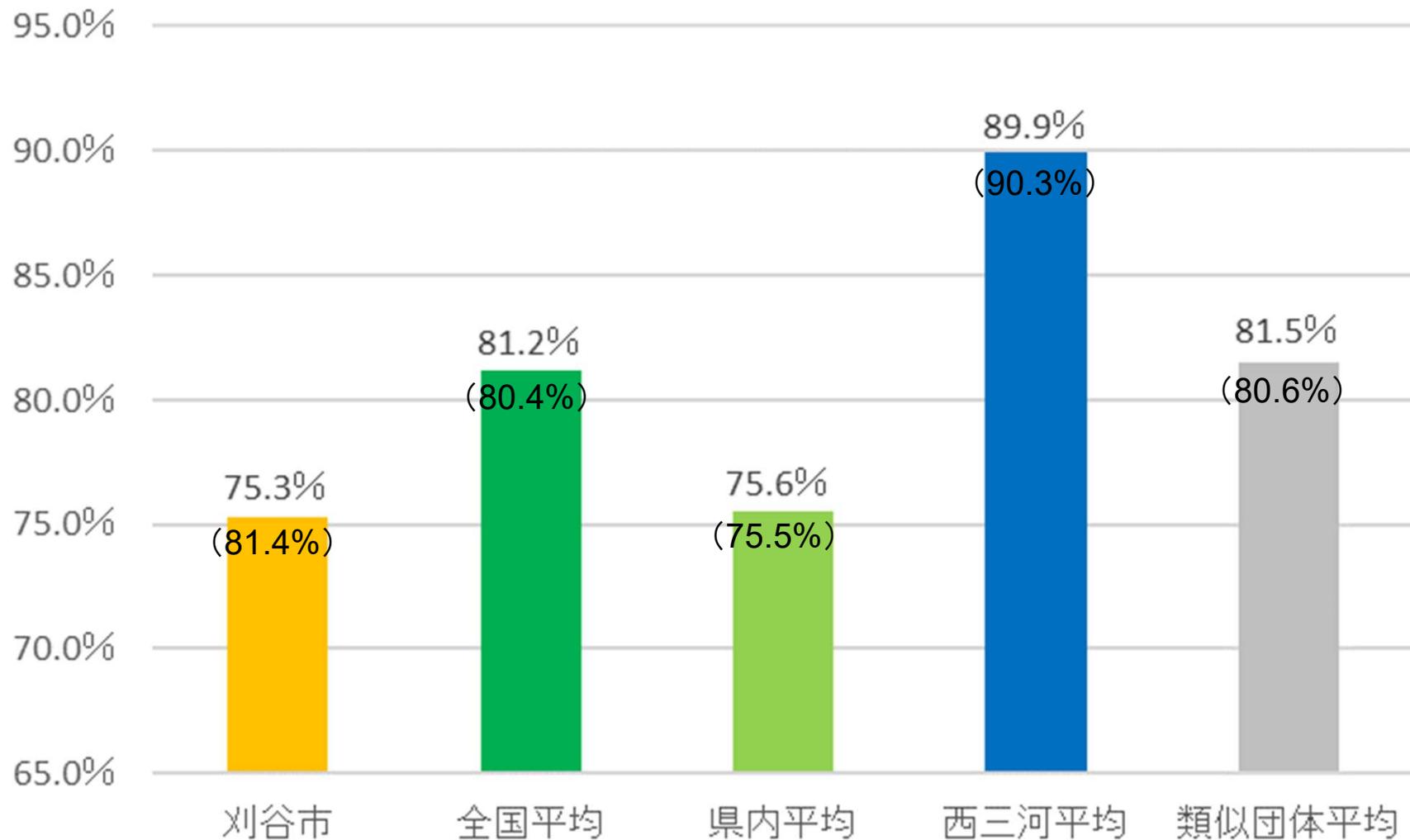
当該年度に更新した管渠延長の割合。



2. 下水道事業の経営状況

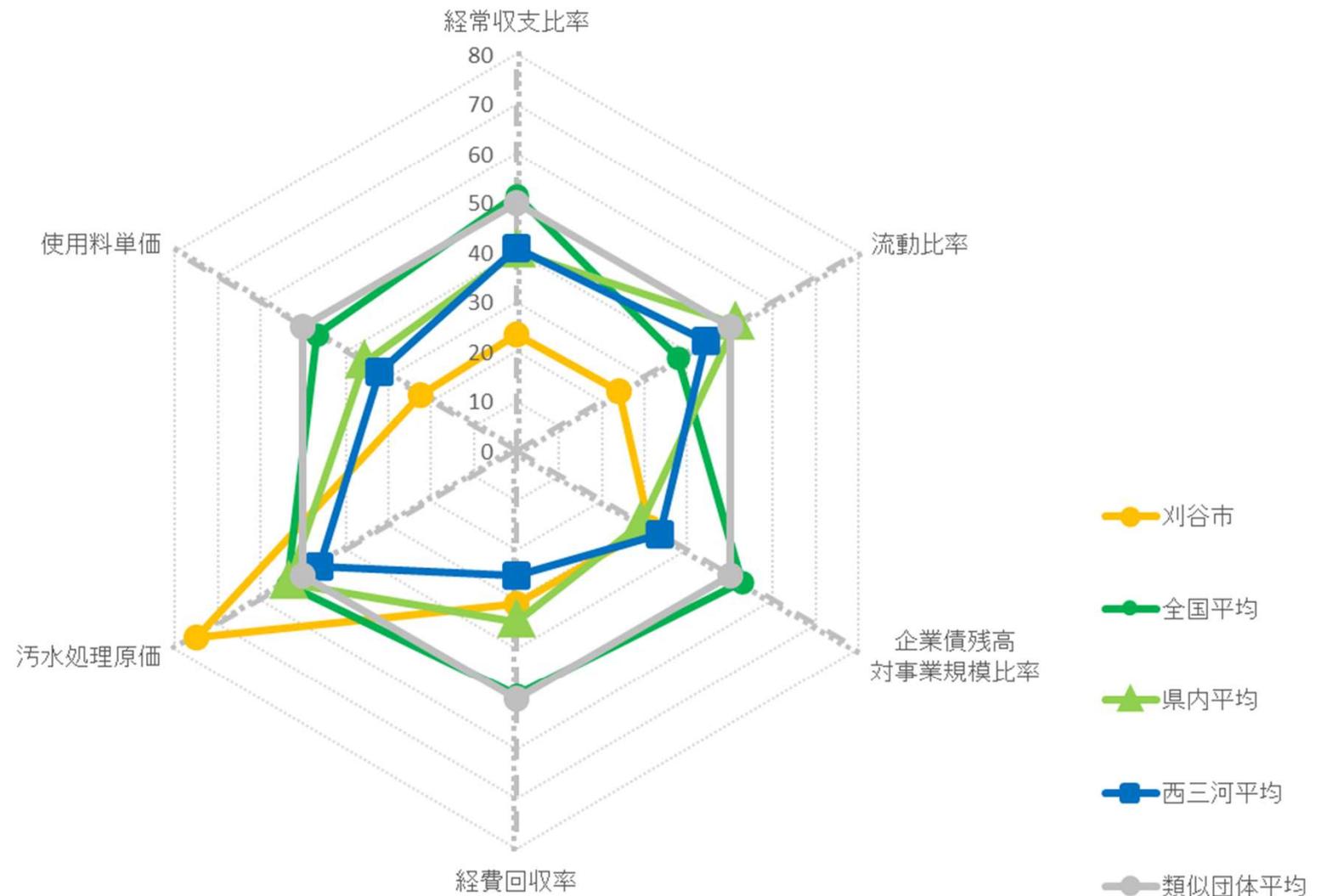
有収率

処理した汚水のうち、使用料徴収の対象となる有収水の割合。



2. 下水道事業の経営状況

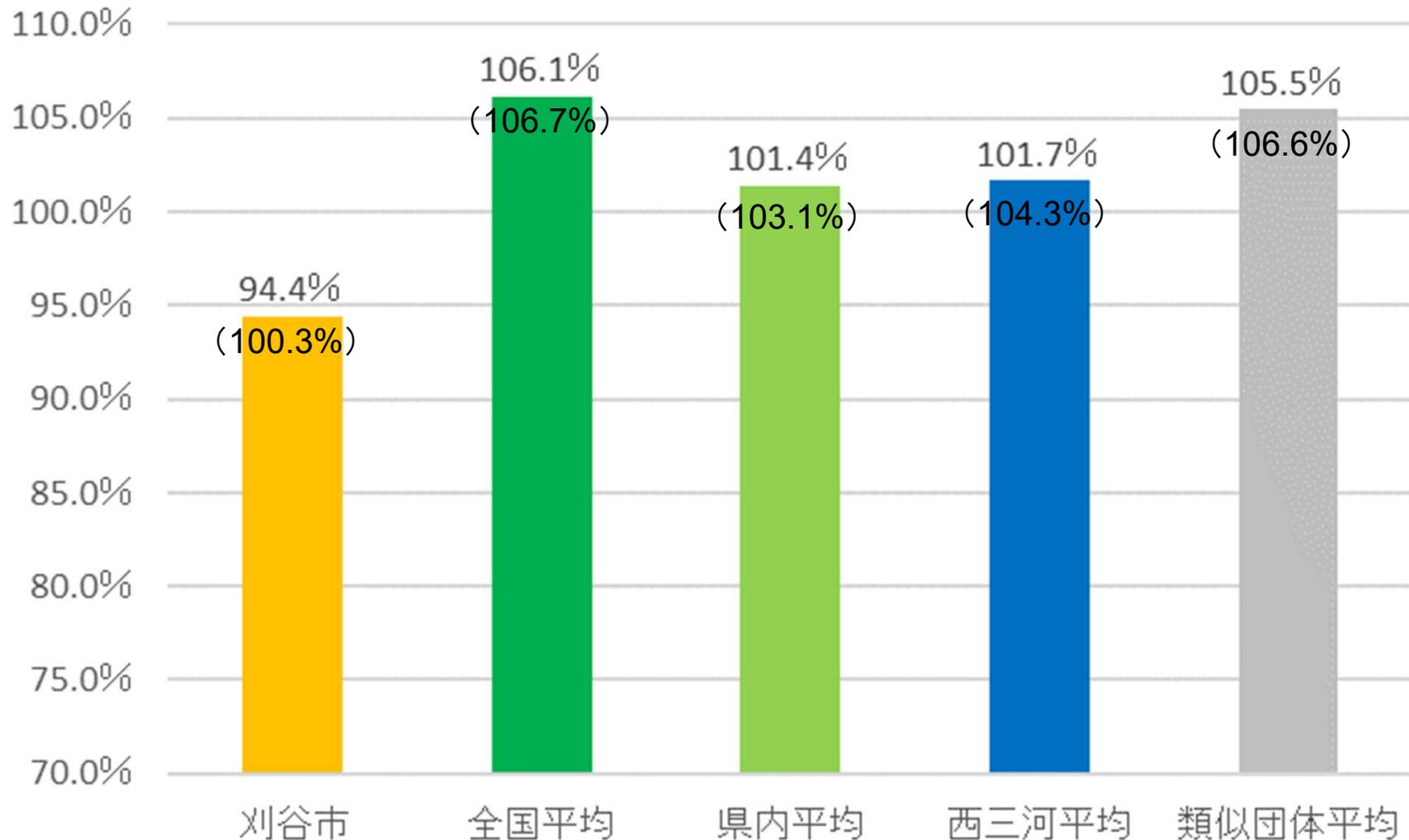
財政に関する経営指標（令和4年度末）



2. 下水道事業の経営状況

経常収支比率

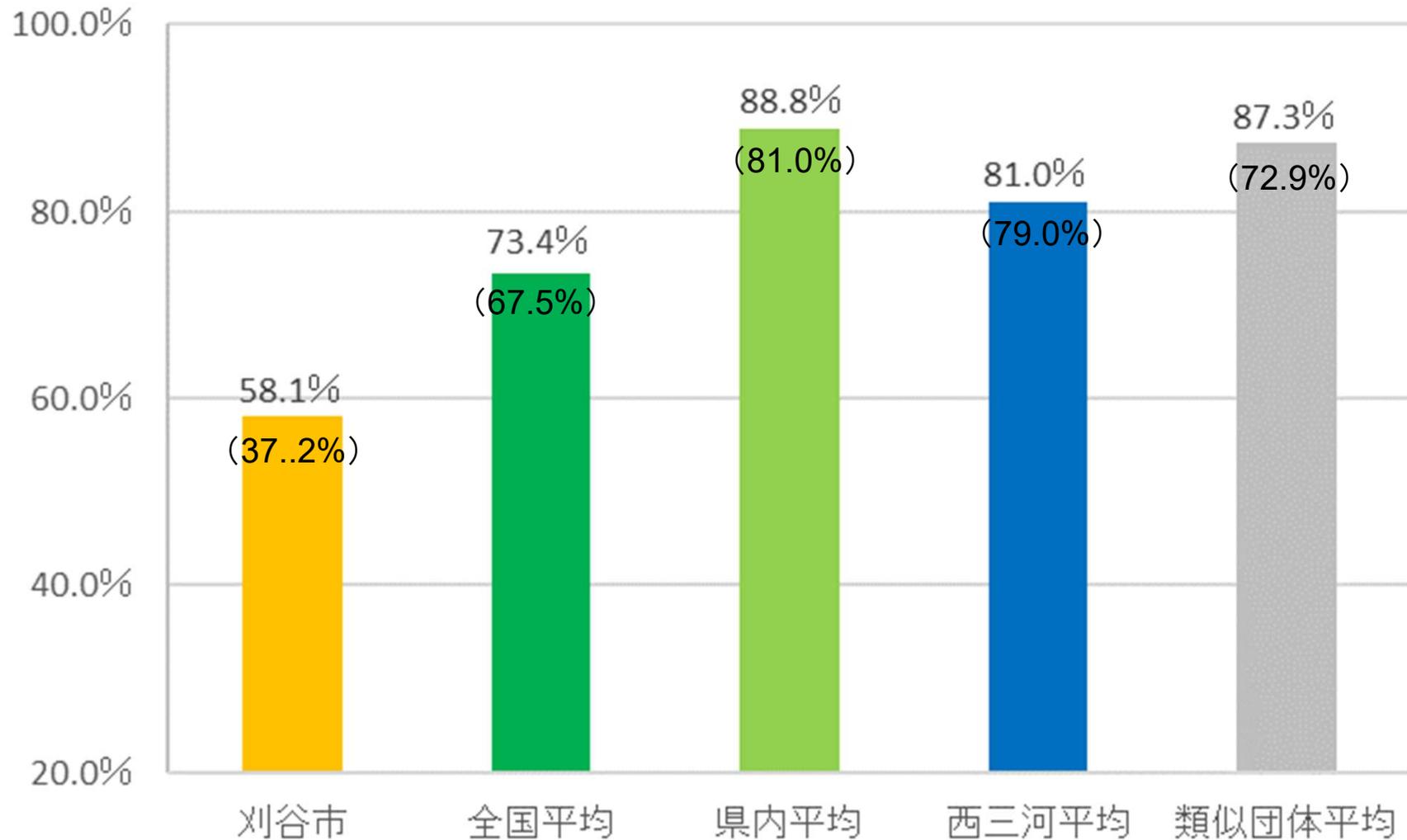
収益で費用をどの程度賄えているかの割合。



2. 下水道事業の経営状況

流動比率

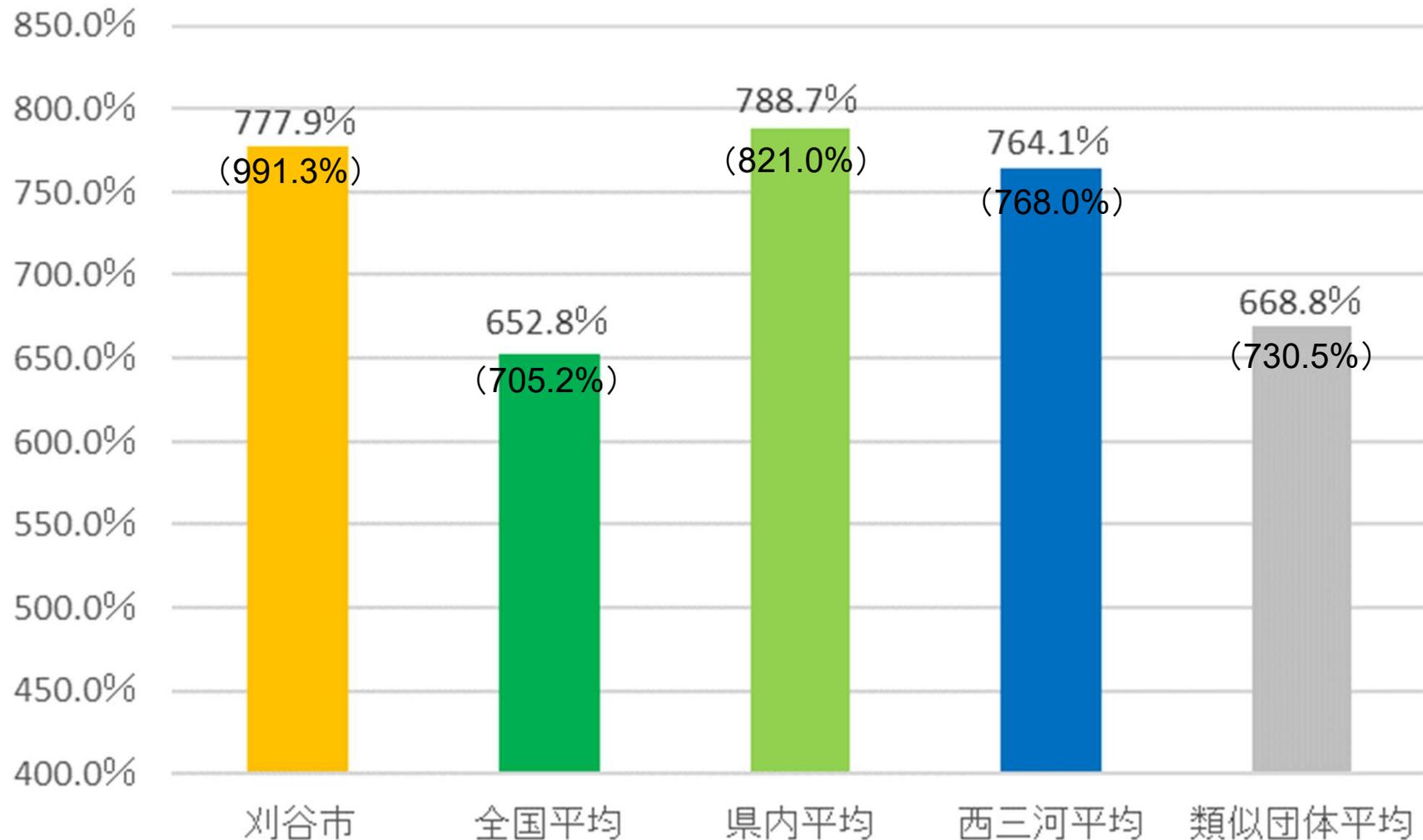
流動負債に対する流動資産の割合。



2. 下水道事業の経営状況

企業債残高対事業規模比率

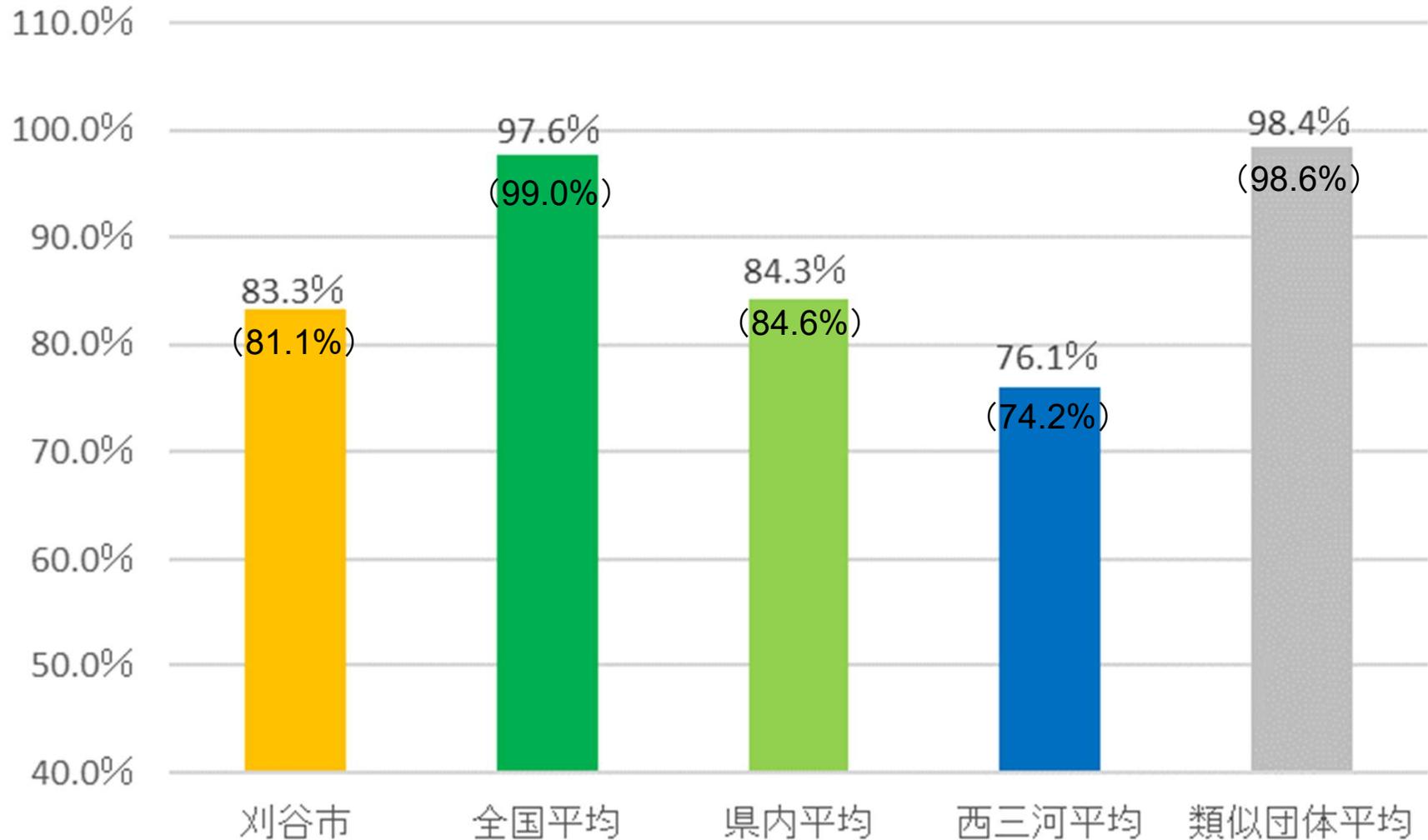
使用料収入に対する企業債残高の割合。



2. 下水道事業の経営状況

経費回収率

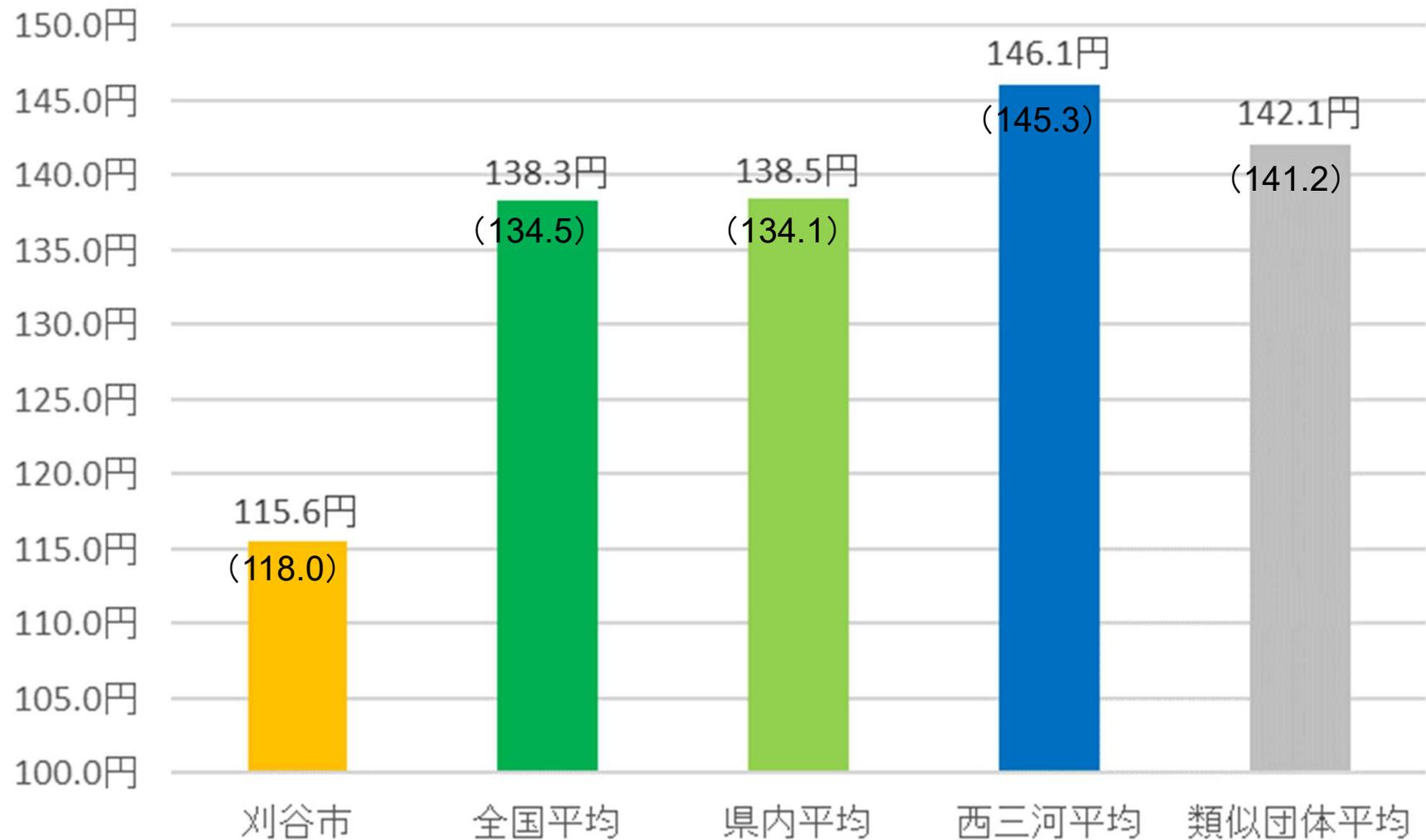
使用料で回収すべき経費を、使用料で賄っている割合。



2. 下水道事業の経営状況

汚水処理原価

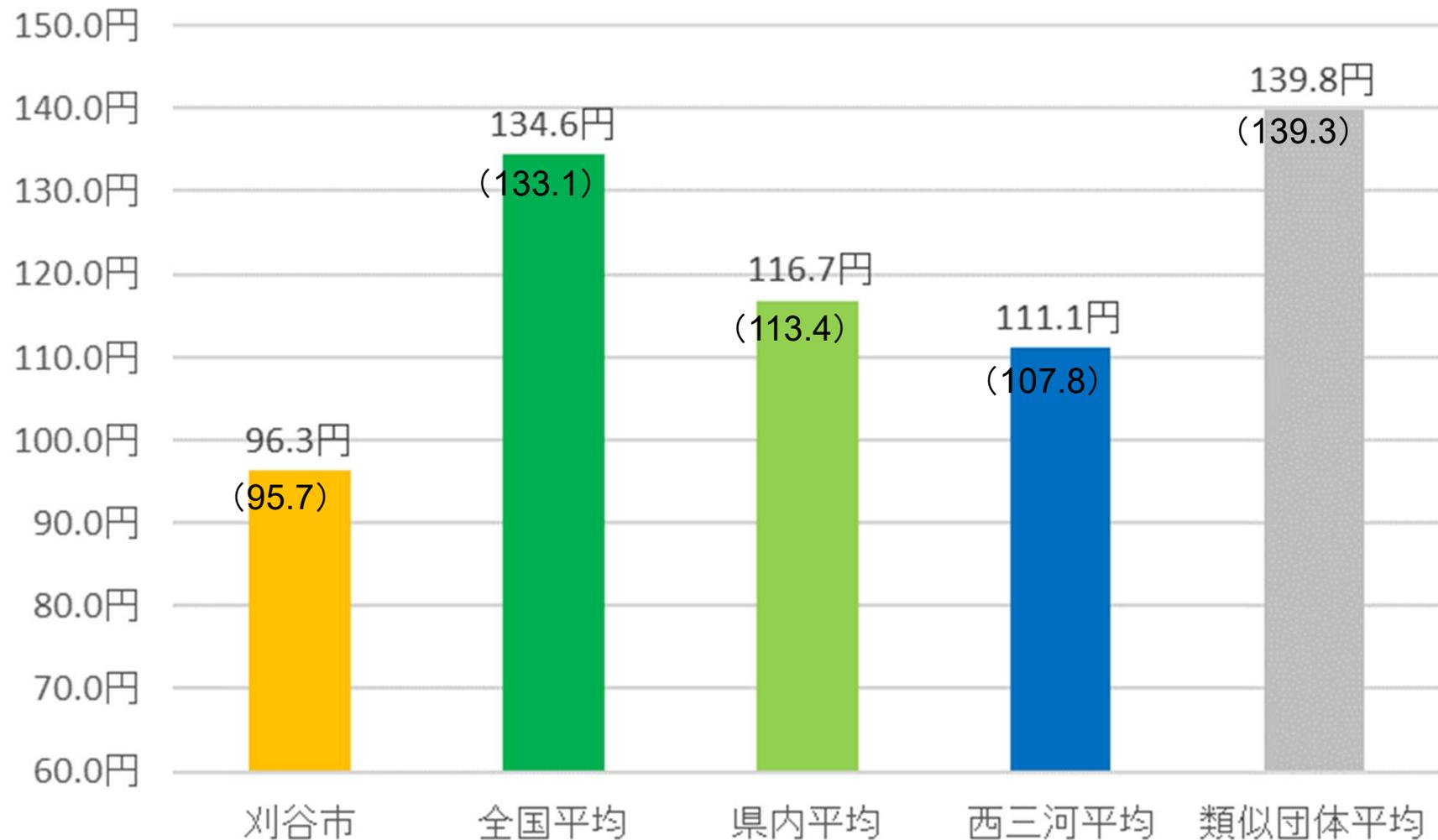
有収水量 1 m³あたりの汚水処理に要する費用



2. 下水道事業の経営状況

使用料単価

有収水量 1 m³あたりの使用料収入



2. 下水道事業の経営状況

各種指標から見た刈谷市下水道事業の課題

投資状況

- ◆ 有形固定資産減価償却率や管渠老朽化率は他団体の平均よりも低く、現状では施設更新の必要性が高まっている状況ではありません。
- ◆ 下水道接続率や有収率は他団体の平均よりも低く、接続率の向上は使用料収入の増加、有収率の向上は経費削減につながるため、改善が求められます。

財政状況

- ◆ 汚水処理原価は他団体の平均に比べて低く抑えられていますが、それ以上に使用料単価が安いことから、経費回収率が低くなっています。
- ◆ 経常収支比率や企業債残高対事業規模比率は県内他団体と同程度ですが、一般会計からの繰入金に依存した状況であるため、経費削減や増収のための取組み、使用料の適正化について検討をしていく必要があります。

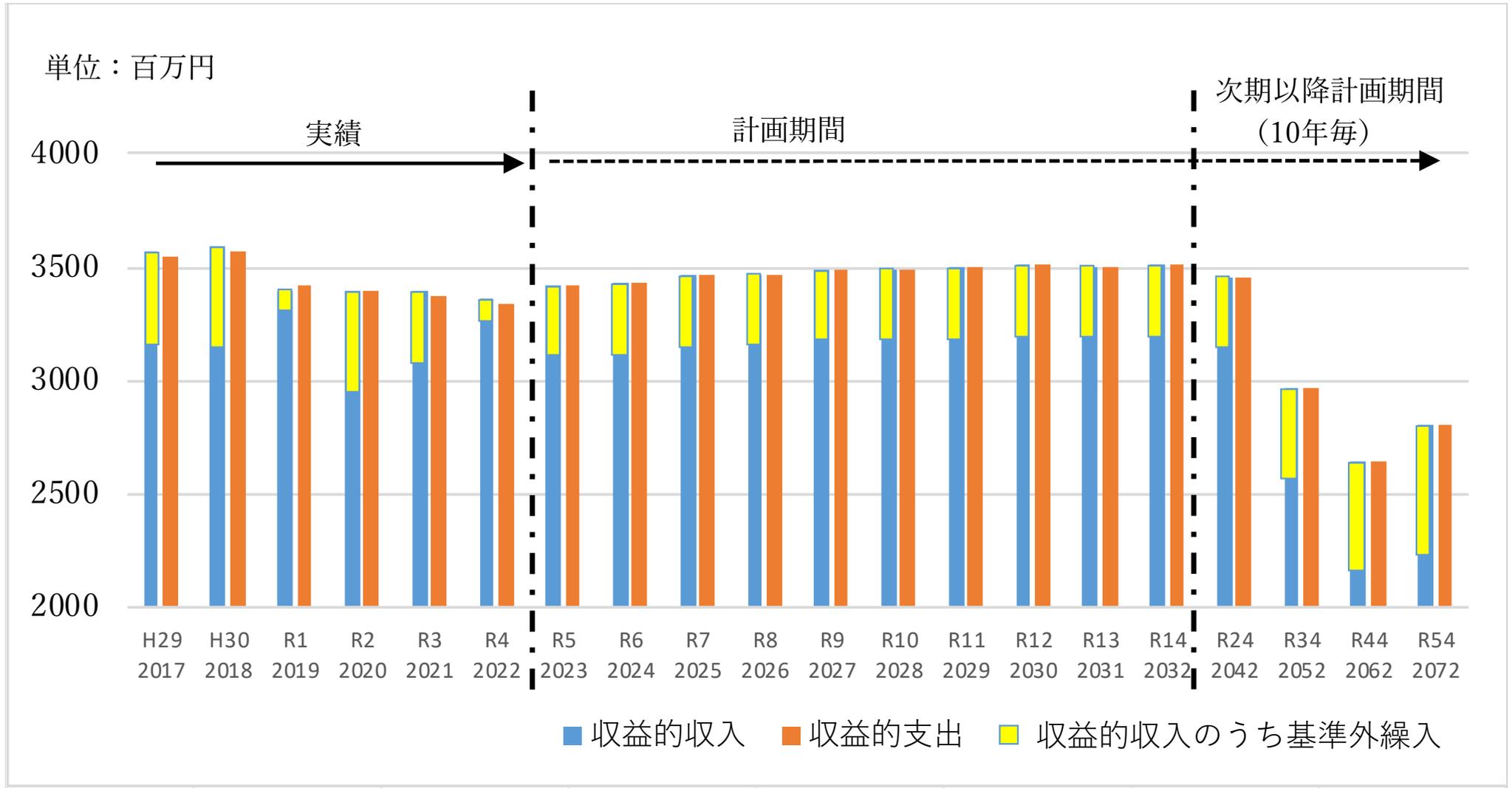
1.刈谷市下水道事業の概要

2.下水道事業の経営状況

3.収支の将来予測

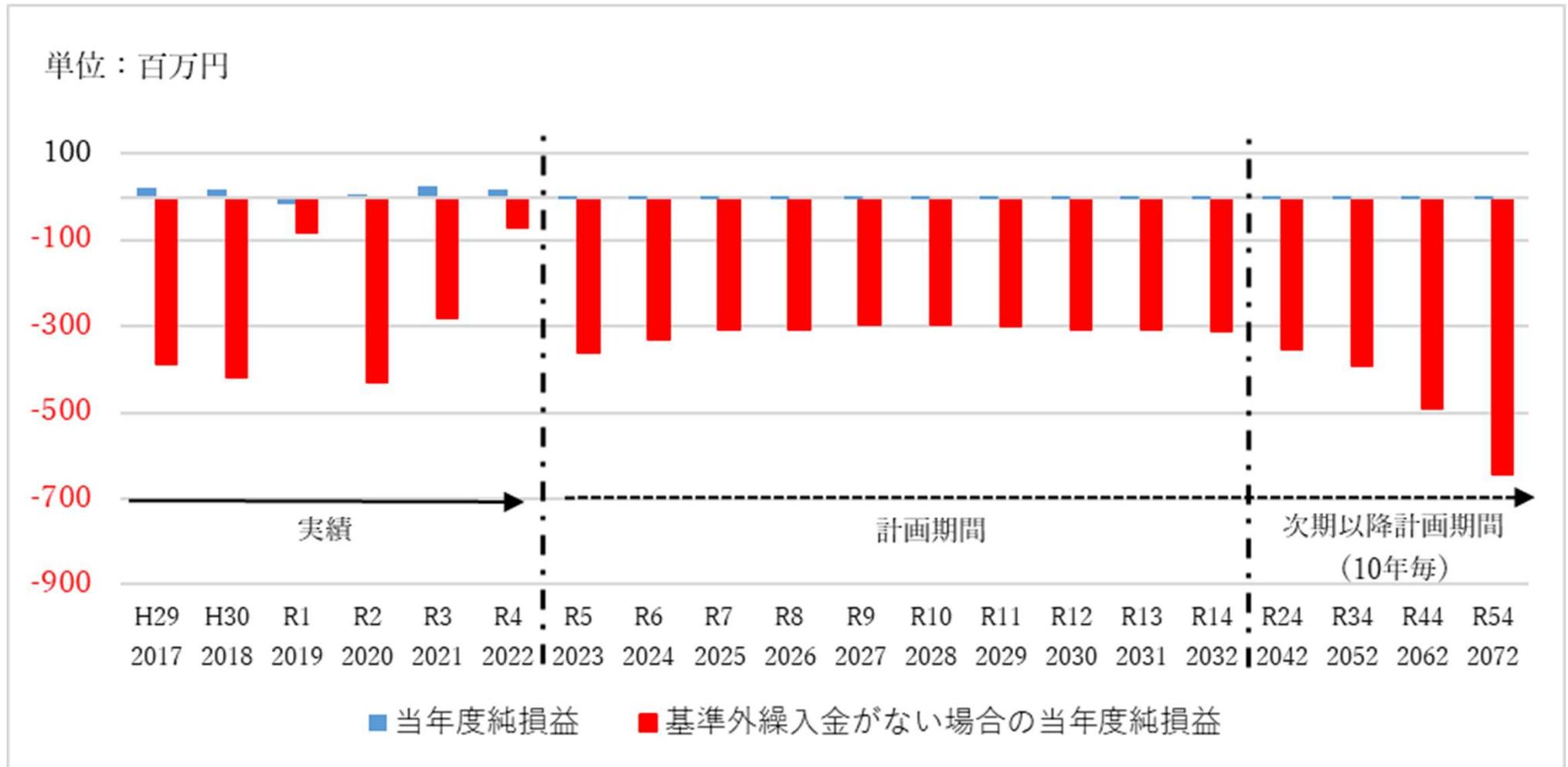
3. 収支の将来予測

収益的収支



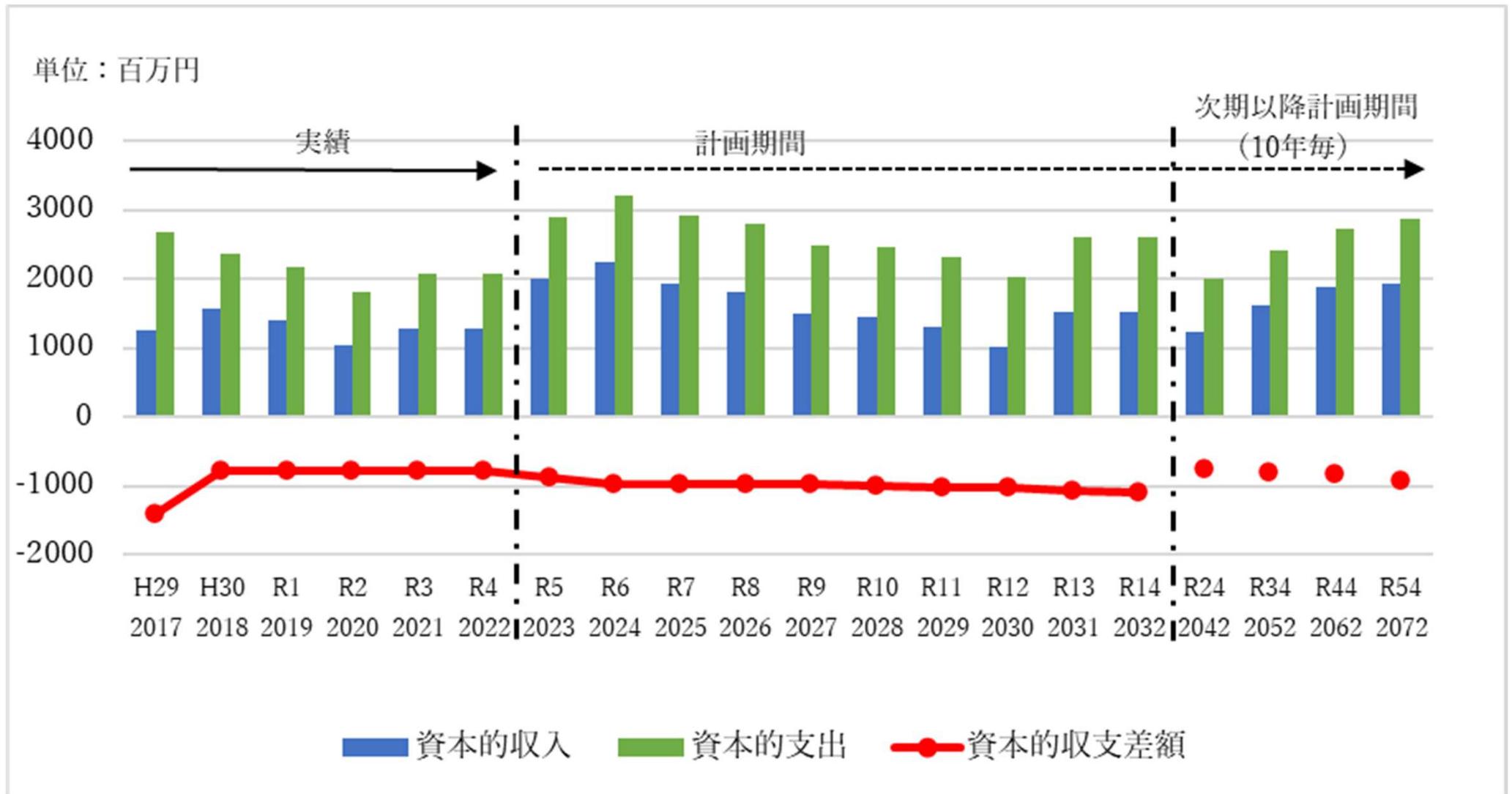
3.収支の将来予測

当年度純利益の推移



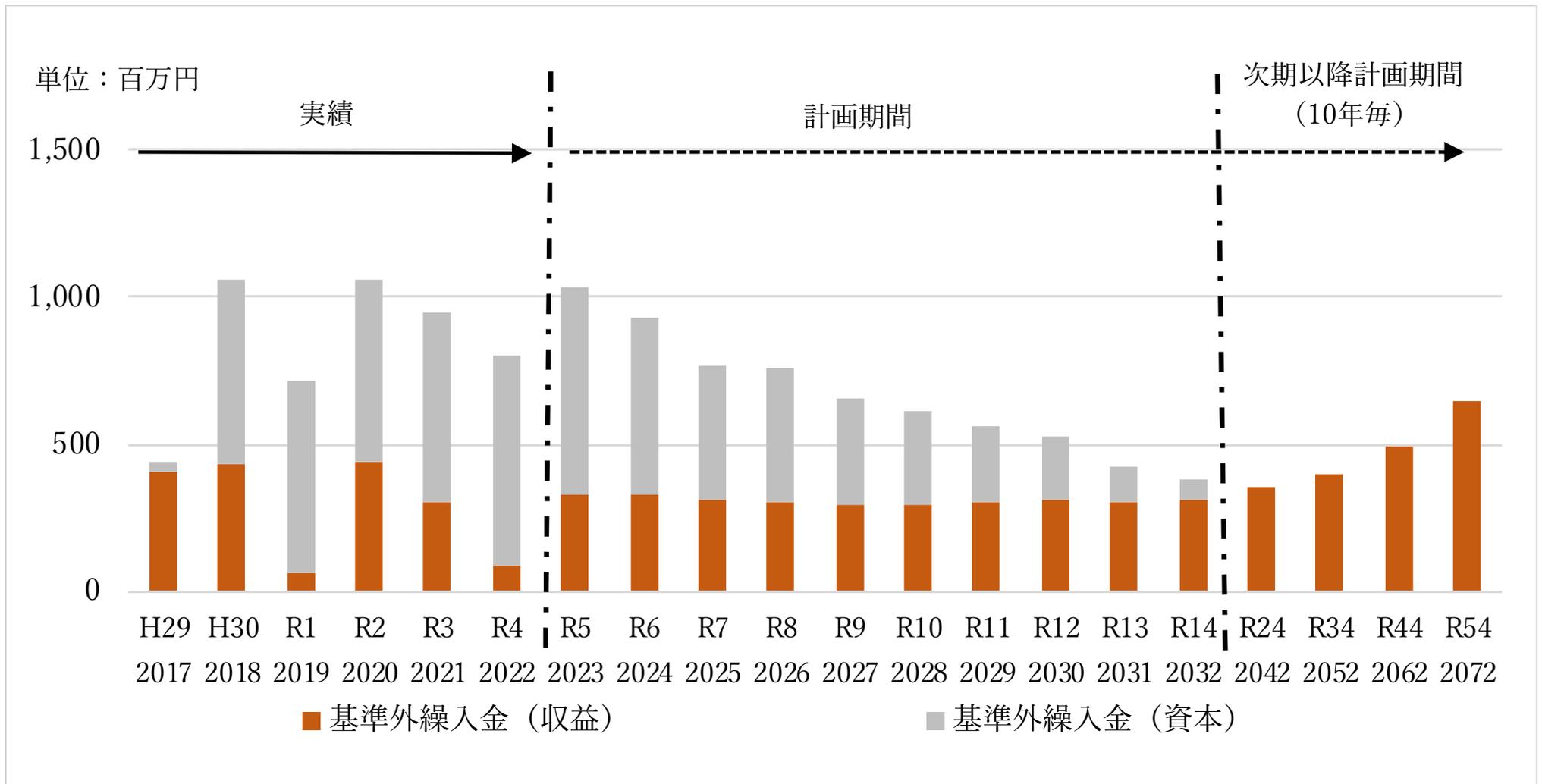
3. 収支の将来予測

資本的収支



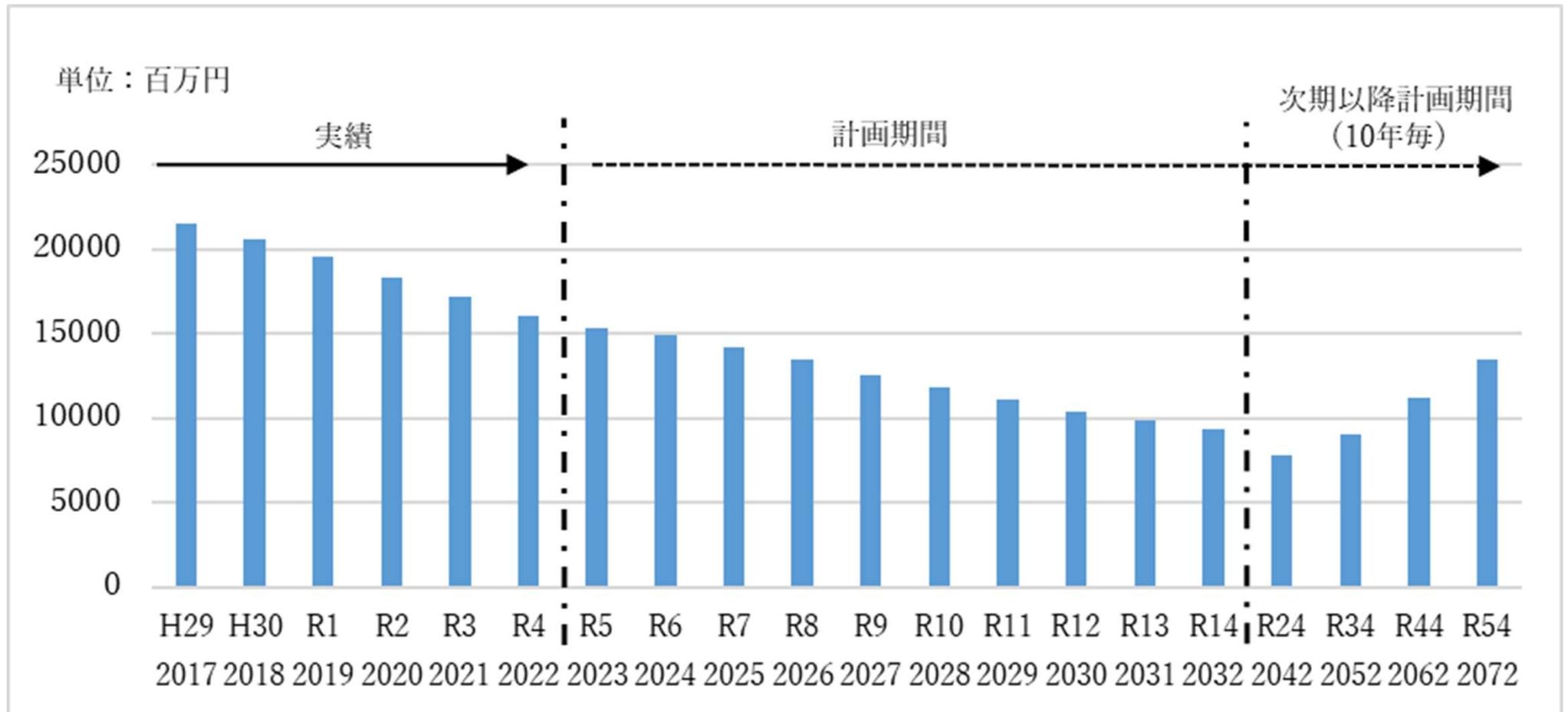
3. 収支の将来予測

基準外繰入金



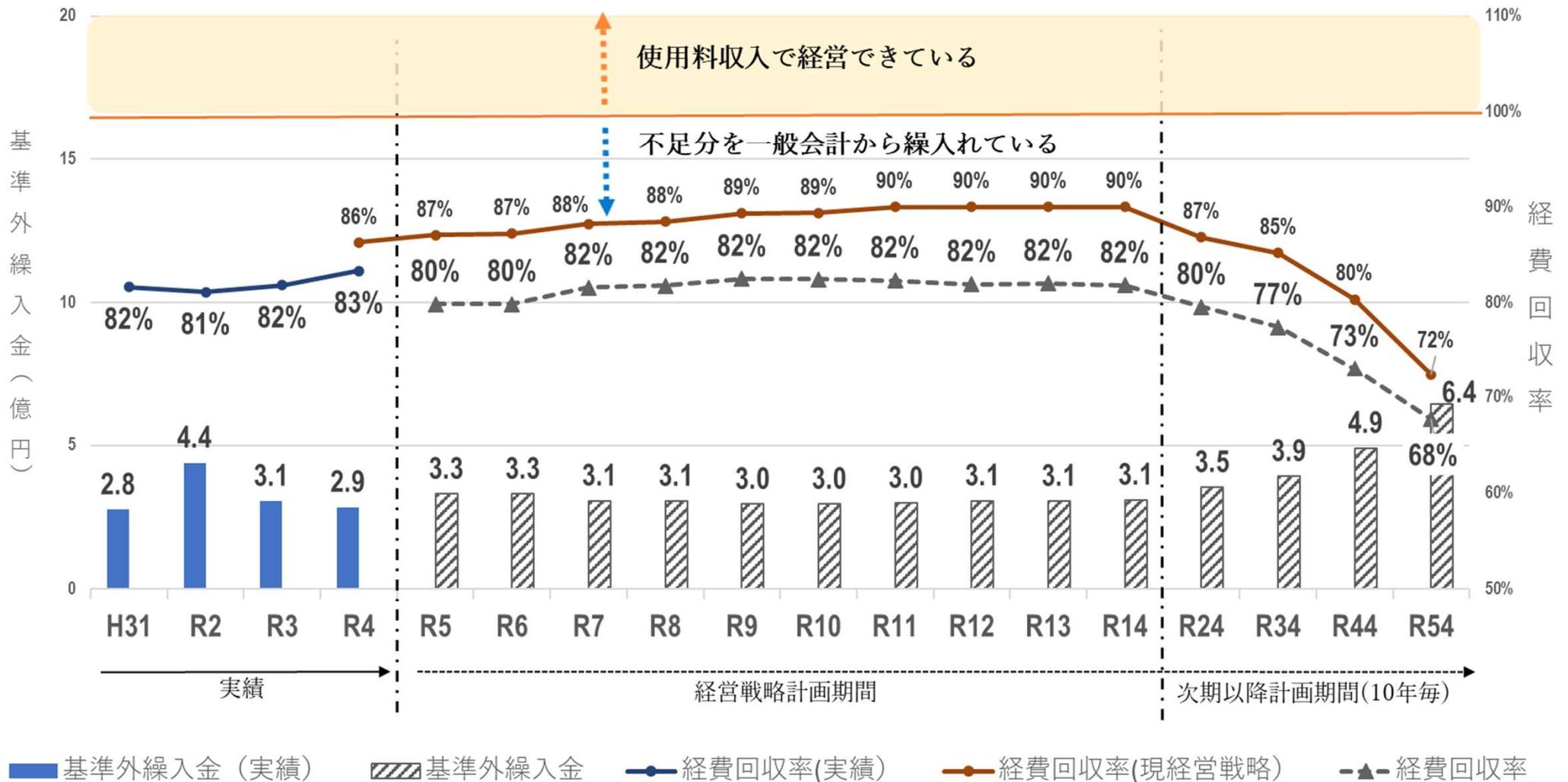
3. 収支の将来予測

企業債残高



3. 収支の将来予測

経費回収率と基準外繰入金



3.収支の将来予測

- ◆昨今の物価高騰などの影響を反映した収支予測では、現行の経営戦略記載の収支予測に比べて、一般会計からの繰入金が増加しており、依存度が上昇しています。
- ◆計画期間内での経費回収率の目標達成は困難となっており、その他の将来予測にも現状との乖離が発生しています。
- ◆目標値の再確認及びその達成のために、さらなる経営改善に取り組んでいく必要があります。